平成24年6月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋水会	伊藤一榮
市民クラブ	見上万里子
希望	齊藤勝
共産党	加賀屋千鶴子
公明党	松田豊臣
フォーラム21	伊藤巧一
護憲・わんぱくの会	倉田芳浩
秋水会	渡辺正宏
秋水会	工藤四郎

一　般　質　問　　秋　水　会　　伊　藤　一　榮

1　エイジフレンドリーシティ構想の推進について

(1) プラハで開催された国際高齢者団体連盟第11回高齢化国際会議に市長が出席した成果について

(2) エイジフレンドリーシティの実現に向けた今後の具体的な事業について

2　環境行政について

(1) 災害廃棄物の受け入れについて

ア　受け入れに対する市民理解度及び反対する市民への認識と対応について

イ　具体的な開始時期を含めた、今後の受け入れの工程表について

(2) 家庭系ごみの有料化について

ア　平成23年度の家庭ごみ排出量に対する認識について

イ　説明会開催後のごみ減量化に対する市民の意識変化と有料化に対する理解度について

ウ　ごみ排出の指導について

3　県市連携事業の推進について

(1) 中心市街地の活性化について

ア　再開発地区のにぎわいづくりと活性化に向けた市長の決意について

イ　新県立美術館と千秋美術館の連携による合同企画展の開催について

ウ　新県立美術館の本オープンまでの活用方法について

(2) デスティネーションキャンペーン及び国民文化祭について

ア　デスティネーションキャンペーンにおける本市の役割と取り組み状況はどうか、また、本市のセールスポイントを前面に出した情報発信をすべきではないか

イ　国民文化祭の開催に向けた県・市の役割分担はどうなっているのか、また、現在の状況と今後の計画はどうか

(3) 再生可能エネルギー導入の促進について

ア　秋田県再生可能エネルギー導入等推進臨時対策基金を活用して実施する事業の長期的視点及び今後の取り組みについて

イ　本市の再生可能エネルギーを取り巻く現状と今後の動向への対応について

ウ　企業や一般家庭における今夏の節電、省エネ対策の推進に向けた取り組みについて

(4) 子供の医療費助成の拡充について

(5) 人口減少対策について

ア　若者の地元定着の促進と雇用創出について

4　地籍調査と震災復興について

(1) 本市の地籍調査の必要性をどう認識しているのか、また、旧秋田市で地籍調査を実施していなかった理由はどうか

(2) 東日本大震災の被災地における地籍調査未実施地域が復興作業に及ぼす影響について

5　市民協働・都市内地域分権と市民サービスセンターについて

(1) 今後の市民サービスセンターの権限及び予算執行を含むセンター所長の職務権限の拡大について

(2) 本庁組織のスリム化について

(3) 南地区コミュニティセンターを利用しているスポーツサークルからの要望について

6　小中学生の食物アレルギー対策について

(1) 食物アレルギーを持つ小中学生の実態と課題について

(2) 学校給食における食物アレルギー対策と相談・指導体制の強化について

一　般　質　問　　市民クラブ　　見　上　万里子

1　市長の政治姿勢について

(1) にぎわい交流館のオープンに当たり、にぎわいを創出し、持続するための方策をどう考えているのか

(2) ジャイアントパンダの誘致について

ア　ことし10月に本市が中国を訪問する目的に、ジャイアントパンダの誘致は含まれているのか

イ　ジャニーズ事務所が設立した財団が、仙台市のジャイアントパンダ誘致への支援を表明したが、本市の誘致活動への影響はどうか

2　人事行政の運営について

(1) 人事異動に当たり、市民サービスを低下させないため、どのように事務引き継ぎを行っているのか

(2) 障がい者の採用に当たっては、より適切な課所室への配置など一定の配慮が必要と思うがどうか

(3) 災害発生時、職員一人一人がとるべき行動について意識づけはできているのか

(4) より実践的な防災訓練として、ブラインド型職員参集訓練をしてはどうか

3　親しみやすい市長及び市議会議員の選挙について

(1) 投票方法を自書式から記号式にしてはどうか

(2) 選挙公報をホームページで公開してはどうか

4　市民からの意見聴取と市民への情報発信について

(1) 市民からの意見聴取について

ア　パブリックコメント等の効果をどうとらえ、どう検証しているのか

イ　しあわせづくり秋田市民公聴条例の対象外事項である「秋田市の

施設等の維持および保守に関するもの」への市民の意見はどのように聞いているのか

(2) ホームページによる市民への情報発信について

ア　ツイッターやユーストリームの配信など、各部局で作成の仕方が異なり、一貫した考え方がないように思うが、どう考えているのか

イ　ホームページの一部がＲＳＳ配信に対応していることをトップページで知らせるなど、ホームページのユーザビリティを向上させるべきではないのか

5　男女共生意識の啓発について

(1) 男女共生については、「室」から「担当」へと組織が縮小されてきているが、男女共生についてどのように考えているのか

(2) 女性学習センターを女性センターに改称して市長部局の所管とし、同センターでも男女共生を推進していくべきではないか

(3) 日本女性会議2014を秋田に誘致してはどうか

6　生活保護について

(1) 不正受給の件数と発生の原因、その対応はどうか、また、再発防止策はどのようにしているのか

(2) 受給者の飲酒、喫煙、携帯電話所持及びパチンコ遊興についてどのように考え、どう対応しているのか

(3) みずから生活保護の相談ができない人への対応はどのようにしているのか

7　子育て支援について

(1) 子ども・子育て未来プランについて

ア　平成26年度を目標とし、さまざまな指標や目標値が設定されているが、現在の進捗状況と、目標達成への方策をどう考えているのか

(2) 在宅子育てサポート事業について

ア　事業のさらなる周知徹底について、どのように考えているのか

イ　「はいポーズ！プラン」や「親子の絵本プラン」などは、在宅以外で子育てをしている家庭に拡大してもよいのではないか

一　般　質　問　　希　　望　　齊　藤　　勝

1　中・長期財政見通しについて

(1) 中・長期財政見通しにおいて、法人市民税が平成25年度以降30年度までに緩やかに回復すると試算した根拠は何か

(2) 今後の社会資本整備のあり方について、どのような考えを持って、中・長期財政見通しを作成したのか

2　企業誘致について

(1) 企業が国内における拠点を見直し、有事に備えリスク分散を図る中、企業誘致にどのように取り組むのか

3　雇用の確保について

(1) 産業・職業別の求人・求職の状況をどう分析し、雇用の確保に向けてどのような対策をとっていくのか

(2) 平成24年３月の高校新卒者の就職状況はどうか、また、今後、新卒者と地元企業のマッチングについてどのように支援していくのか

4　市民協働による雪対策について

(1) 市民協働による道路除排雪を拡充すべきではないか

(2) 個人所有の空き地等を活用するなどして、地域の身近な場所に排雪場所を確保すべきではないか

5　教育行政について

(1) 児童生徒の安全対策について

ア　災害時の対応について、小中学校にどのような指針を示し、それをどう徹底していくのか

イ　不審者に対して、災害とは異なる対応が必要と思われるが、児童生徒が適切な行動をとるために、どのように取り組んでいるのか

ウ　通学路の安全を確保するため、道路構造や交通量など、学校だけ

では対応できない問題について、関係機関とどのように連携して取り組んでいるのか

(2) 学校トイレ改善の取り組みについて

ア　各小中学校のトイレの状況について、児童生徒及び教職員の声も含めて把握しているのか

イ　児童生徒に対し、トイレを使用する際のマナーについて、どのように指導しているのか

ウ　学校のトイレの機能改善や環境向上に、今後どう取り組んでいくのか

6　スポーツ振興について

(1) 青少年の体力向上及び健全育成を図るため、スポーツ振興にどのように取り組んでいるのか、また、今後の課題をどうとらえているのか

(2) 日本オリンピック委員会とパートナー都市協定を締結したが、今後のスポーツ施策において、同協定をどう活用し、どのような効果を期待しているのか

一　般　質　問　　共　産　党　　加賀屋　千鶴子

1　市長の政治姿勢について

(1) 社会保障と税の一体改革について

ア　消費税10％による市民・地域経済に与える影響及び税収を含む本市財政への影響をどう予測しているのか

イ　市長は「地方の声」として国にどのような意志を伝えようとしているのか

2　財政健全化法と本市の財政運営について

(1) 財政健全化至上主義では、市民福祉の増進は図れず、市民の暮らし、地域経済は守れないのではないか

(2) 市民の安全、健康で文化的な生活を送るという基本的人権を保障するために、予定している大規模事業を見直し、また、公債費の縮減を念頭に置いた起債管理を行うなど、中長期的な財政の持続可能性を考慮した財政運営を行うべきではないか

(3) 市立秋田総合病院の経営形態について

ア　地方独立行政法人に移行した場合、将来的に市の一般会計からの繰り入れが減額され、患者負担がふえるなど、独立採算性が重視されていくのではないか

イ　採算性が重視され、精神・結核病床、救急医療など市立秋田総合病院が担ってきた地域医療ができなくなると思うがどうか

ウ　議会や住民のチェックが弱まる地方独立行政法人への移行はやめて、公営企業として市民福祉の増進を図るため努力すべきと思うがどうか

3　介護保険について

(1) 訪問介護について

ア　生活援助の時間区分の見直しについて、事業者への周知指導はどのように行ったのか

イ　生活援助の時間短縮の影響について、どのように認識しているのか

ウ　利用者の状況、希望により「90分程度のサービス」が必要な場合に、その報酬相当を市が助成する制度を創設すべきではないか

(2) 地域包括ケアシステムについて

ア　国から示されている定期巡回・随時対応サービスと複合型サービスで、高齢者に安全・安心な介護を提供できると考えているのか

イ　利用者・関係者から意見を聞き、課題を把握した上で、国に対し改善を求めるべきではないか

4　家庭系ごみの減量について

(1) 市民の納得が得られていない家庭系ごみの有料化は、「凍結・延期」すべきと思うがどうか

(2) 生ごみの減量対策について、どのように考えているのか

(3) 資源集団回収の一層の促進のため、地域や団体で収集回数がふえる体制にすべきと思うがどうか

(4) ＮＰＯなどが行っているエコキャップ運動や古着のリサイクル運動など、ごみ減量につながる取り組みを市民に広く知らせ、活用してもらってはどうか

(5) 「環境立市あきた」にふさわしく、全市的にごみ減量に取り組んでいくためにも「ごみ減量推進会議」の設立を検討してはどうか

5　秋田地区特別防災区域周辺住民の防災対策について

(1) 秋田県石油コンビナート等防災計画に基づき、本市として、市民や地域の安全を守るため、何をしなければならないと考えているのか

(2) 市独自に立地環境、気象条件などを勘案し、多様な災害影響条件を設定し、避難計画を策定できる体制を構築すべきと思うがどうか、また、市民に対する現実的な避難対策を講ずるべきと思うがどうか

一　般　質　問　　公　明　党　　松　田　豊　臣

1　本市経済の活性化と雇用創出について

(1) 地域産業の競争力強化について

ア　県都『あきた』成長プランの成長戦略「地域産業の競争力強化」の取り組み状況と成果について

イ　ことし４月に六次産業担当官を配置したが、地域資源の活用及び農商工連携を通じた農林分野における新事業創出支援の内容及び今後の計画はどうか

ウ　六次産業化法に基づく事業計画の認定について、市として積極的に支援していくべきではないか

エ　国の実践型地域雇用創造事業を活用し、６次産業化の推進による地域産業活性化と新たな雇用を創出すべきと考えるがどうか

オ　国が創設を目指している農林漁業成長産業化ファンド（仮称）に対する認識及び検討状況について

(2) 持続可能な農業の実現について

ア　本市における新規就農の拡大に向けた取り組みについて

イ　若い世代の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、国の青年就農給付金制度を活用し推進を図るべきと考えるがどうか

(3) 企業誘致について

ア　秋田新都市産業区及び秋田湾産業新拠点等の未分譲地の現状及び課題について

イ　未分譲地解消に向けて、県との連携を強化し最優先で企業誘致に取り組むべきと考えるが今後の対策はどうか

2　防災・減災対策について

(1) 社会インフラの適切な保全及び建設について

ア　「公助」の基盤になっている橋や道路などの社会インフラの多くが、耐用年数を経過するなど老朽化が進行し、防災力の低下が危惧されるが、本市の現状はどうか

イ　社会インフラの防災力及び減災力を強化するため、橋の長寿命化修繕計画や無電柱化計画に基づき、効果的な事業を早急に行うべきと考えるがどうか

ウ　老朽化が進行し、居住環境が悪化した市営住宅については、バリアフリー化や耐震化を推進し、安全・安心に生活できる居住環境の整備を行うべきではないか

(2) 災害時の緊急告知について

ア　コミュニティＦＭ局の電波を活用して、高齢者世帯などを対象にした緊急告知用の防災ラジオの無償貸与事業を実施すべきと考えるがどうか

(3) 防災対策の見直しにかかわる男女共同参画の推進について

ア　本市防災会議に、女性委員の登用を積極的に拡大すべきと考えるがどう認識しているのか

3　高齢者及び障がい者施策について

(1) 市営住宅について

ア　高齢者や障がい者の世帯数及び入居者数の現状はどうか、また、高齢者や障がい者に配慮した環境を整備し、優先的に入居させる考えはないか

イ　市営住宅を管理する立場から、高齢者等の生活支援について、他部局と連携して対応すべきと思うがどうか

(2) 高齢者コインバス事業について

ア　資格証明書の交付状況及び利用状況はどうか、また、利用者からどのような反応があるのか

イ　利用者をふやす方法をバス事業者等と検討していくべきではないか

4　生活保護について

(1) 本市の生活保護受給者が年々増加する中で、稼働年齢層の自立に向けた就労支援を促進すべきと考えるがどうか

(2) 本市における生活保護費の不正受給の現状及び適正化に向けた取り組みについて

(3) 本市のケースワーカーの充足度及び今後の体制強化について

5　地域包括支援センターについて

(1) 地域包括支援センターの増設が求められているが、今後の計画はどうか

(2) 地域包括支援センターの運営に民間企業の活力を導入すべきと考えるがどうか

6　大町地区の空洞化について

(1) イーホテルショッピングモール閉鎖の影響及び本市の対応について

(2) 秋田ニューシティビル跡地を含む大町地区の土地利用について、市は地権者や地域住民等と積極的なかかわりを持って再生に取り組むべきと考えるがどうか

7　地域の諸課題について

(1) 御所野地区の街路樹の再生について

(2) 御所野地区の避難所指定について

ア　地域の特性を考慮した上で、災害時の避難所を指定すべきと考えるがどうか

一　般　質　問　　フォーラム21　　伊　藤　巧　一

1　市長の政治姿勢について

(1) 市長のキャッチフレーズである「大転換の時、希望を持て、覚悟を決めよ」について

ア　市民に対して、どのような場面でこのキャッチフレーズを提唱してきたのか、また、市民の受けとめ方に対する認識はどうか

(2) 市長公約について

ア　現在の公約について、財源や準備期間など、かなり無理をして実施したものはないか、また、実現したものの、思ったほど効果が上がらなかったものはないか

イ　２期目に向けた公約は、人を大切にしながら、市民に負担がかからないものとする考えはないか、また、現場の考えを重視した公約としてはどうか

2　秋田公立美術大学について

(1) 市内の各大学との交流や学部編入について、協議を行っているのか

(2) 地域への具体的な波及効果をどのように考えているのか

(3) ４年制大学化を進めるに当たり、地域住民との意見交換や説明会の開催等は行ったのか

(4) 大学運営にかかる年間のランニングコスト及び市からの補助金について

(5) 本市における大学の位置づけと理想像について

3　中通一丁目地区市街地再開発事業等について

(1) これまで行った主な計画変更の回数と内容について

(2) 再開発準備組合の立ち上げメンバーは、最終的にどのような形で本事業に携わったのか

(3) 商業施設に出店する地権者の数とにぎわい創出にかける思いについて

(4) 再開発準備組合、株式会社丹青社、株式会社丹青モールマネジメント及び秋田まちづくり株式会社による四者合意は、現在、どのような内容になっているのか

(5) 商業施設のオープンに当たり、株式会社丹青社と株式会社丹青モールマネジメントは、どのような役割を果たしたのか

(6) 商業施設のテナントに入退居する際の工事費の負担と責任分担について

(7) 秋田まるごと市場が展開するサン・マルシェと秋田市民市場との競合について、同業者から懸念の声が上がっているが、どのように考えているのか

(8) 今後の千秋美術館のあり方と必要性について

4　市の出資法人について

(1) 太平山観光開発株式会社について

ア　同社は太平山リゾート公園関連施設を指定管理しているが、その選考に当たり、同社の財務諸表をどう審査し、経営状況をどのように判断したのか

イ　仮に、同社が次期指定管理者の選考から外れた場合、同社の償還金や欠損金等の処理はどうなるのか、また、出資者である市の責任の範囲はどうか

5　教育について

(1) 通学路について

ア　危険箇所の実態について

イ　水沢橋及び黒瀬橋の安全確保について

(2) 雄和地域における小学校の統廃合に対する考え方について

(3) 給食費の未納について

ア　給食費の未納者数と未納の保護者への対応について

イ　給食費を未納のまま卒業したケースへの対応について

(4) 中学校における武道の学習について

ア　柔道を指導できる教員の人数について

イ　指導に携わる教員の柔道経験について

ウ　柔道連盟など関係機関との協力態勢について

6　中国南寧市への貿易拠点の設置について

(1) 南寧市に対するこれまでの取り組みについて

(2) 平成23年度に南寧市を訪問した目的と成果について

(3) 貿易拠点として南寧市を選んだ理由について

(4) 南寧市への事業展開は、順調に進んでいるのか

(5) 秋田ショップを軌道に乗せるための本市の意気込みについて

7　消火栓の維持管理について

(1) 不具合等により使用できない消火栓の数、消防団に対する不具合の周知及び消火栓の改修計画について

(2) 不具合のある消火栓付近で火災が発生した際の対応について

一　般　質　問　　護憲・わんぱくの会　　倉　田　芳　浩

1　市長の政治姿勢について

(1) 野田首相の関西電力大飯原発３・４号機の再稼働宣言に対する認識について

(2) 原子力発電について、今後どのようにすべきと考えているのか

(3) 現在の不況下での消費税増税は無謀と思うが、市長はどのように考えているのか、また、その考えを国に伝える思いはないのか

2　家庭系ごみ有料化等について

(1) 資源化物の分別について

ア　有料化の前に、プラスチック製容器包装は資源化するべきではないか

イ　プラスチック製容器包装を家庭ごみとして溶融しているようでは、循環型社会を形成するための市民意識は向上しないと考えるがどうか

ウ　プラスチック類は、溶融炉内の助燃剤としての役割を果たしているが、そのように考えた場合、家庭ごみの排出量に含めるのはおかしいのではないか

(2) 市民の間では、有料化そのものについて異論があることから、実施を見送るべきではないか

(3) 収集業務の委託料は適切に試算され、作業従事者の賃金に反映されているのか

3　風力発電について

(1) 風力発電施設による人体への影響について、どのように考えているのか

(2) 向浜地区における風力発電について

ア　向浜地区風力発電施設建設予定者は、他市において風力発電に関係する問題を抱えていたようであるが、本市において同様の問題が

起こる可能性はないのか

イ　景観上の問題点はないのか

ウ　秋田県では地元参画の風力発電事業を推奨しているが、本件は、地元にとってどのようなメリットがあるのか

(3) 豊岩地区における風力発電について

ア　東北電力が行った平成23年度風力発電の受け付けについて、その後の進捗状況はどうなっているのか

イ　出資を行うことは、本市にとってリスクが大きいのではないか

ウ　今回建設しようとしている風車の機種は限定されるのか

エ　風車の機種を選定する際は、出資者として、他メーカーとの価格の比較を行うべきと思うがどうか

オ　今後、豊岩浄水場に据えつけるディーゼル発電機が72時間連続運転可能であれば、非常用電源としては十分ではないか

カ　６月定例会に提出予定としていた補正予算を見送ったのはなぜか

4　震災瓦れきの受け入れ処理について

(1) 安全性の確認について

ア　バグフィルターの放射性物質捕捉率が、ほぼ100％とのことであるが、どこで、どのような実証実験を行った結果なのか

イ　溶融炉で発生した高温の放射性物質を含む排ガスが、バグフィルター直前で固体になるとする根拠は何か

(2) 試験溶融処理に係る排ガスに含む放射性物質の検査方法は、どのようなものか

(3) 岩手県野田村における広域処理費の負担は幾らか

5　通学時の児童生徒の安全対策について

(1) 警察庁交通局長通達の「ゾーン３０の推進について」は有効な対策であり、導入すべきと考えるが、関係機関との協議は行っているのか

6　子供の医療費について

(1) 子供の福祉医療制度の拡充を実施する時期はいつか

7　竿燈まつりについて

(1) 町内竿燈などに参加する方の職場等に対し、参加及び休暇依頼はどのように行われているのか

(2) 本市が直接、参加者が勤める会社などに働きかけるべきと考えるがどうか

8　側溝の整備について

(1) 側溝改良の要望について、どのように対応しているのか

9　社会福祉法人に対する指導監査等について

(1) 社会福祉法人に対する指導監査において、役員等への給与の支給根拠が不明確であると指摘した場合、その後の改善状況をどのようにして確認するのか

(2) 社会福祉法人に対する指導監査において、事故報告体制の整備が不十分であると指摘した場合、その後の改善状況をどのようにして確認するのか

(3) 社会福祉法人の役員に市職員ＯＢが就任することについて、どのように考えているのか

(4) 社会福祉法人の外部監査資料を入手することはあるのか、また、入手した場合、どのような対応をするのか

(5) 不適切な事務等に関する情報が寄せられているが、直接、市長や関係部局への情報提供等はなかったのか

一　般　質　問　　秋　水　会　　渡　辺　正　宏

1　市長の政治姿勢について

(1) 立ち位置を未来に置いた本市の進むべき指針について

2　財政について

(1) 税外収入確保のための民間活力の積極的な活用について

(2) 収入未済金回収の現状の対応とその問題点、今後の取り組みに対する考え方について

3　教育行政について

(1) 来年度以降の秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院のあり方について

(2) 今後の一貫校等の充実・整備の方向性について

(3) 市として高校を設置している意義と今後の高校教育への指導・助言の進め方について

4　中心市街地の活性化について

(1) 旧産業会館跡地の活用について

(2) 「エリアなかいち」におけるにぎわい創出のためのソフト事業に対する本市のかかわり方について

5　新庁舎建設について

(1) 新庁舎における再生可能エネルギー導入の具体的計画について

6　６次産業化について

(1) ６次産業化に対する取り組み姿勢の強化について

7　観光行政について

(1) フィルムコミッションへの取り組みについて

一　般　質　問　　秋　水　会　　工　藤　四　郎

1　市長公約について

(1) 市長公約は市長の考えどおり進んでいると考えているのか、また、実現した市長公約は、市勢の発展に十分貢献したと考えているのか

(2) 公約の実現に当たり、どのような苦労を感じたのか

(3) 公約実現に向けた副市長や幹部職員の協力について、どのように考えているのか

(4) 次期市長は、どのような公約を掲げるべきと考えているのか

2　御所野学院について

(1) 御所野学院は設立当初の目的を持って運営されているのか、また、成果はどうか

(2) 御所野学院が抱えている課題はどうか、また、教育方針、生徒の意識、保護者の思いは、どう変化してきているのか

3　児童生徒の交通安全について

(1) 自転車通学を許可している小中学校は何校あるのか

(2) 安全な自転車の乗り方教室を充実させる考えはないか

(3) 自転車の運転資格証を発行するなど、交通安全に対する意識を持たせる考えはないか

4　市街化調整区域における住宅建築について

(1) 調整区域への住宅建築に付される厳しい条件が緩和される見込みはないのか、また、都市計画法の趣旨は地方の実態と合致していると考えているのか

(2) 河辺・雄和両地域での住宅建築の許可は、旧秋田市とどのように違うのか

(3) 合併協議の際、河辺・雄和両地域の住宅建築の促進についての意見があったと思うが、実際に促進されているのか

5　観光について

(1) 本市の観光のあり方について

ア　「エリアなかいち」への市外からの誘客をどの程度と見込んでいるのか、また、その具体的な誘客策はどうか

イ　「エリアなかいち」を本市観光の中核とし、市内各地の観光資源と融合させながら、多くの県外客を呼び込む具体策を提示すべきではないか

(2) リピーターの確保対策について

ア　観光客に対する「おもてなし」をどのように考えているのか

イ　観光客に接する経営者・従業員に対し、接客マナーの研修を商工会議所等と連携して開催する考えはないか

(3) 河辺・雄和両地域の各商業観光施設について

ア　老朽化した各施設をリニューアルする考えはないか

イ　指定管理者に対し、自主運営の芽を伸ばすような経営指導をすべきではないか

ウ　指定管理者における雇用環境の悪化について、何らかの対応策を考えているのか

エ　ふるさと温泉ユアシスについて

(ｱ) 温泉を利活用した地域活性化策をどう考えるのか

(ｲ) 源泉を活用した事業に民間が乗り出す場合、分湯して支援する考えはあるのか

6　再生可能エネルギーについて

(1) 本市における太陽光発電及び風力発電をどのように評価するのか、また、今後どちらを優先させていく考えなのか

(2) 住宅用太陽光発電システム設置費補助制度における設置数の目標と期限、その成果をどの程度と見込んでいるのか

(3) 本市へのメガソーラーの民間参入を促進させる考えはないか

(4) 風力発電施設が周辺環境に与える影響について、本市として調査し

ているのか

7　自主防災組織について

(1) 組織の結成促進を含め、自主防災組織のあり方をどのように考えているのか

(2) 訓練は自主防災組織にゆだねているのか、また、市から出向いて、訓練の指導、講習を実施する考えはないか

8　空き家対策について

(1) 本市には空き家は何軒あるのか、また、所有者は確認できているのか

(2) 空き家対策をどのように考えているのか

9　災害廃棄物の運搬について

(1) 運搬に当たっては、市内に本社を置く事業所に業務を行わせるよう、県に強く申し入れる考えはないか

10　地域の諸課題について

(1) 旧雄和町が整備した旧雄和公民館及び竹の花公園について

ア　旧雄和公民館について、他の目的で再利用する考えはないか

イ　竹の花公園の利用実態はどうか、また、さらに手を加えて積極的に利活用を図る考えはないか